

工学部 学生便覧 2019年度 修正一覧

ページ数	変更内容	誤	正
56		別紙1「工学部学生便覧2019(P56)修正版」(このPDFファイル2ページ目)の内容に差換え	
66-68		別紙2「工学部学生便覧2019(P66~68)修正版」(このPDFファイル3-4ページ目)の内容に差換え	
279	教員の追加	教育研究分野:感性アートメディア 准教授:石井カルロス寿憲	→ 教育研究分野:感性アートメディア 准教授:石井カルロス寿憲・ <b>港 隆史</b>
281	担当教員の追加	授業科目:コンピュータシステム2 担当教員:田村, 酒井	→ 授業科目:コンピュータシステム2 担当教員:田村, 酒井, <b>宋</b>
282	進級要件・卒業要件単位数の修正	別紙3「工学部学生便覧2019(P282)修正版」(このPDFファイル5ページ目)の内容に差換え	
		4年生への進級要件 全学共通科目・外国語第1: <b>6</b> 、 専門科目・○: <b>≥5</b>	→ 4年生への進級要件 全学共通科目・外国語第1: <b>4</b> 、 専門科目・○: <b>≥7</b>
		卒業要件 全学共通科目・外国語第1: <b>6</b> 専門科目・○: <b>≥11*</b>	→ 卒業要件 全学共通科目・外国語第1: <b>4</b> 専門科目・○: <b>≥13*</b>

## 工学部学生便覧 2019 (P56) 修正版

## 全学共通授業科目の履修方法に関する申合せ

(平成 16 年 4 月 1 日 制定)  
最終改正 平成 31 年 1 月 24 日

全学共通授業科目に係る授業を円滑、かつ、効果的に実施するため、その履修方法を次のとおり取り扱う。

- 1 全学共通授業科目の履修は、自己の所属する学部・学科・クラスなどにより、指定された曜日・時間(以下「学部指定開講枠」という。)の授業科目を履修するものとする。
- 2 単位の未修得により、入学年度に配当された年次以降に履修(以下「再履修」という。)する場合も、原則として、学部指定開講枠の授業科目を再履修するものとする。ただし、外国語科目必修科目、健康・スポーツ科学実習 1 及び健康・スポーツ科学実習 2 を除く。  
授業科目を再履修する場合において、授業科目の授業の方法・内容等から、次に定める授業科目(\*)については、抽選登録を行うこととする。なお、共通専門基礎科目実験科目については、別紙「受講許可カード交付願」により、所定の受講許可カードの交付を受け、授業担当教員の承認を得なければならない。  
\*抽選登録を行う授業科目  
(1) 外国語科目(必修科目のみ)  
(2) 情報基礎  
(3) 数学系の共通専門基礎科目
- 3 基礎教養科目・総合教養科目において、「学部指定開講枠」以外の授業科目(以下「学部指定外開講枠」という。)を再履修しなければ修学が困難と認められる場合における再履修を認める範囲は、別に定めるものとする。
- 4 基礎教養科目・総合教養科目以外の授業科目において、学部指定外開講枠の授業科目を再履修しなければ修学が困難と認められる場合は、次に定める範囲において、別紙「(学部指定外開講枠)履修登録願」に所属学部の許可を受け、指定する日程までに提出後、授業担当教員の承認が得られた場合に限り、学部指定外開講枠の授業科目を再履修することができるものとする。

## 再履修が可能な学部指定外開講枠の授業科目

- (1) 次の共通専門基礎科目(物理学実験、物理学実験基礎、化学実験 1、化学実験 2、生物学実験 1 及び生物学実験 2 を除く。)  
数学系、物理学系、化学系の授業科目
- (2) 情報科学 1、情報科学 2
- (3) 健康・スポーツ科学(健康・スポーツ科学実習 1、2 を除く。)

## 附 則

この申合せは、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

## 工学部学生便覧 2019 (P66～P68) 修正版

### 全学共通授業科目に係る大学以外の教育施設等における学修等に関する内規

(平成 29 年 1 月 26 日 制定)

最終改正 平成 31 年 2 月 21 日

#### (趣旨)

第 1 条 この内規は、神戸大学教学規則（平成 16 年 4 月 1 日制定。以下「規則」という。）第 35 条第 1 項及び第 36 条第 2 項に規定する大学以外の教育施設等における学修及び入学前の大学以外の教育施設等における学修について必要な事項を定める。

#### (定義)

第 2 条 この内規において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) ギャップターム 在学中に授業を履修せず、大学以外で学修する期間をいう。
- (2) 海外学修 ギャップタームにおいて、海外で、語学学校における研修、インターンシップ及びボランティア活動等の学修を行うことをいう。

#### (単位授与を行う学修等)

第 3 条 規則第 35 条第 1 項及び第 36 条第 2 項により全学共通授業科目の履修とみなし、単位授与を行うことができる学修等は、別表第 1 及び別表第 2 のとおりとする。

#### (申請手続等)

第 4 条 別表第 1 及び別表第 2 に定める学修について単位授与を受けようとする者は、全学共通授業科目の単位授与申請書により、大学が定める期日までに所属学部長に申請するものとする。

2 休学中の者は、別表第 1 に定める科目の申請はできない。

#### (審査及び単位授与)

第 5 条 各学部長は、前条の規定による申請があった場合は、教授会の議を経て単位授与を行い、所定の期日までに神戸大学大学教育推進機構国際教養教育院長（以下「国際教養教育院長」という。）へ報告するものとする。

- 2 既に単位を修得済みの授業科目について、重複して単位授与を行うことはできない。
- 3 この内規により全学共通授業科目の単位授与を受けた際の英語外部試験の成績をもって他の全学共通授業科目及び専門科目の単位授与を受けることはできない。
- 4 別表第 2 に定める学修に関する単位授与は、1 回に限るものとする。

#### (申請者への通知)

第 6 条 単位授与の結果は、成績証明書への記載により申請者に通知するものとする。

#### (雑則)

第 7 条 この内規に定めるもののほか、この内規の実施に関し必要な事項は、国際教養教育院長が定める。

#### 附 則

- 1 この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この内規施行の際現に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 31 年 4 月 1 日以後において在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

別表第1(第3条関係) 単位授与の対象とする学修等

申請時期	対象とする英語外部試験の得点又は級	対象学部(学科)	授業科目名	単位数	単位授与の時期	評価	受験年月日
入学年度の5月	TOEFL-ITP 560以上 TOEFL-iBT 83以上 TOEIC Listening & Reading Test(-IP) 800以上 IELTS 6.0以上 実用英語技能検定 1級	医学部医学科を除く全学部	Academic English Literacy B1 Academic English Literacy B2 Academic English Communication B1 Academic English Communication B2	2	1年次前期	秀	入学前年度6月1日以降に受験したものの。

※TOEFL-ITP及びTOEIC Listening & Reading Test-IPは、神戸大学英語外部試験又は大学教育推進機構国際コミュニケーションセンターが実施するものに限る。

別表第2(第3条関係) 単位授与の対象とする学修等

配当年次等	対象とする英語外部試験の得点	対象学部	授業科目名	単位数	単位授与の時期	評価	申請期限	受験年月日
1年次第1クォーター	TOEFL-ITP 480以上 TOEFL-iBT 55以上 TOEIC Listening & Reading Test(-IP) 650以上	全学部	Academic English Literacy A1 Academic English Communication A1	1	海外学修を行った年度の前期	合格	海外学修を行った年度の前期末	申請の1年前から、海外学修を行った年度の前期末までに受験したものの
		国際人間科学部	Autonomous English 1	0.5		合格		
1年次第2クォーター		全学部	Academic English Literacy A2 Academic English Communication A2	1		合格	海外学修を行った年度の第3クォーター末	申請の1年前から、海外学修を行った年度の第3クォーター末までに受験したものの
		国際人間科学部	Autonomous English 2	0.5		合格		
1年次第3クォーター	TOEFL-ITP 490以上 TOEFL-iBT 58以上 TOEIC Listening & Reading Test(-IP) 680以上	全学部	Academic English Literacy B1 Academic English Communication B1	1	海外学修を行った年度の後期	合格	海外学修を行った年度の後期末	申請の1年前から、海外学修を行った年度の後期末までに受験したものの
1年次第4クォーター		全学部	Academic English Literacy B2 Academic English Communication B2	1		合格	海外学修を行った翌年度の第1クォーター末	申請の1年前から、海外学修を行った翌年度の第1クォーター末までに受験したものの

※TOEFL-ITP及びTOEIC Listening & Reading Test-IPは、神戸大学英語外部試験又は大学教育推進機構国際コミュニケーションセンターが実施するものに限る。

## 工学部学生便覧 2019 (P282) 修正版

## 週授業時間数 (専門科目)

		時間数	1年				2年				3年				4年				備考
			前		後		前		後		前		後		前		後		
			1Q	2Q	3Q	4Q													
◎1	必修	44	5	6	8	6	2		3	2	3	3	3	3					
◎2	必修	21			2	2	4		7	6									
◎3	必修	78	2	4		2	4		4	6	8			12	12	12	12		
○	選択	25									1	13	11						
	計	168	7	10	10	10	10		10	12	9	12	16	14	12	12	12	12	

※ 工学英語入門, 知的財産入門は含んでいない。

## 単位数 (専門科目)

		単位数	1年				2年				3年				4年				備考
			前		後		前		後		前		後		前		後		
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
◎1	必修	33.5	4.5	5.5	6.5	4.5	2		2.5	2	1.5	1.5	1.5	1.5					
◎2	必修	13.5			1	1	3.5		4.5	3.5									
◎3	必修	38	2	4		2	4		4	6	8							8	
○	選択	25									1	13	11						
	計	110.0	6.5	9.5	7.5	7.5	9.5		7.0	9.5	7.5	10.5	14.5	12.5				8	

※ 工学英語入門, 知的財産入門は含んでいない。

## 4年生への進級要件及び卒業要件

	全学共通科目							専門科目				計
	基礎教養	総合教養	高度教養	外国語第1	外国語第2	健康・スポーツ科学基礎	情報基礎	◎1	◎2	◎3	○	
開講単位数								33.5	13.5	38	25	
4年生への進級要件	6	6	2	4	4	1	1	33.5	≥39.5		≥7	≥104
									≥11.5	≥26		
卒業要件	6	6	4	4	4	1	1	33.5	13.5	38	≥13*	≥124

\* : 外国語科目と健康・スポーツ科学の選択科目については、それぞれ2単位と1単位を上限として算入することができる。